

みずほCustomer Desk Report 2018/06/06 号(As of 2018/06/05)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.97	1.1700	128.70	1.3319	0.7653
SYD-NY High	110.01	1.1732	128.70	1.3410	0.7656
SYD-NY Low	109.48	1.1653	127.79	1.3303	0.7595
NY 5:00 PM	109.79	1.1718	128.66	1.3395	0.7616
NY DOW	24,799.98	▲ 13.71	日本2年債	-0.1300	1.00bp
NASDAQ	7,637.86	31.40	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	2,748.80	1.93	米国2年債	2.4938	▲ 2.44bp
日経平均	22,539.54	63.60	米国5年債	2.7677	▲ 2.71bp
TOPIX	1,774.96	0.27	米国10年債	2.9250	▲ 1.83bp
シカゴ日経先物	22,515.00	▲ 45.00	独10年債	0.3845	▲ 3.40bp
ロンドンFT	7,686.80	▲ 54.49	英10年債	1.2815	▲ 1.40bp
DAX	12,787.13	16.38	豪10年債	2.7425	2.45bp
ハンセン指数	31,093.45	95.47	USDJPY 1M Vol	6.80	▲ 0.18%
上海総合	3,114.21	23.01	USDJPY 3M Vol	7.22	▲ 0.04%
NY金	1,302.20	4.90	USDJPY 6M Vol	7.74	▲ 0.01%
WTI	65.52	0.77	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	199.19	0.32	EURJPY 3M Vol	8.60	▲ 0.01%
ドルインデックス	93.90	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	8.99	▲ 0.01%

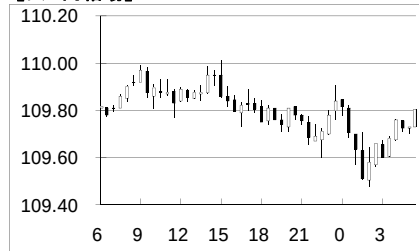
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月5日	10:45	中 Caixin PMI(コンボジット/サービス業)	5月 52.3/52.9	-/52.9
	13:30	豪 RBAキャッシュレート	- 1.50%	1.50%
	16:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	5月 52.1/53.4	52.1/53.1
	17:00	欧 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	5月 53.8/54.1	53.9/54.1
	17:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)	5月 54.0/54.5	53.0/53.4
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	4月 0.1%/1.7%	0.5%/1.7%
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	5月 56.8/56.6	55.7/-
	23:00	米 ISM非製造業総合景況指数	5月 58.6	57.7

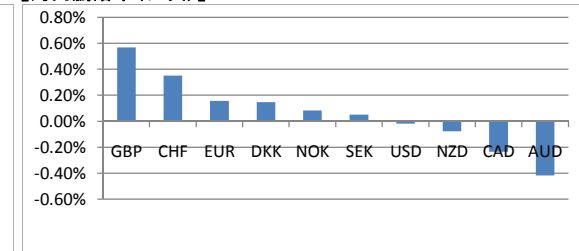
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月6日	10:30	豪 GDP(前期比/前年比)	1Q 0.9%/2.8%	0.4%/2.4%
	21:30	米 貿易収支	4月 -\$49.0b	-\$49.0b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.40—110.40	1.1700—1.1800	128.00—129.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は底堅く推移。良好な米6月ISM非製造業景況指数を受け、ドル円は底堅く推移。その後は、米金利が低下したことに追従し上げ幅を縮小。本日についても基本的には堅調な推移を想定する。但し、昨日イタリア国債金利が再度上昇していたこと等、欧州政治懸念が高まる場合、米中の貿易摩擦懸念が高まる場合等については、下落するリスクもあることから注意したい。

東京	東京時間のドル円は109.97レベルでオープン。前日の流れを引き継ぎ、米金利や日経平均株価が高値圏で推移する中、109円台後半で堅調推移。午後に入ると特段の材料は無かったものの110.01の高値をつけた。一部では短期筋のフロが入ったとの見方が出ていた。但し、米国を巡る貿易戦争懸念も燃る中で110円台を保つことは出来ず、109円台後半で推移。結局109.84レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.84レベルでオープン。欧州時間は109.71～109.89円の狭いレンジでの動きに終始し109.75レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1691レベルでオープン。ポンドが買われたことに連れて一時1.1716まで上昇。しかし、発表されたユーロ圏4月小売売上高が前月比で予想を下回るとユーロ売り優勢の展開。その後イタリアのコンテ新首相が国会演説を始めることとポピュリスト政権への警戒感からイタリア国債が売られたこともあり、1.1676まで下落した後、1.1683レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3316レベルでオープン。発表された英5月サービス部門PMIが予想を上回ったことを受け1.3391まで買われる。但し、1.33台後半では売り意欲もあって前日同様1.34台寄せには至らず1.3358レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は109.75レベルでNYオープン。海外時間に110円台を明確に上抜けられなかったことから朝方は109.60まで下落したが、米5月ISM非製造業景況指数が強い内容だったことから109.90まで上昇。その後、EU高官が「今週予定されているG7首脳会議で米国とEUの貿易問題解消が見込めない」と述べたことから、米国とEUの貿易摩擦激化が懸念され、株価下落と共にドル円は下落し、朝方の安値109.60を下抜け109.58をつける。午後に入り、ユーロ圏関係者による情報として「来月14日のECB理事会で資産買い入れを終了する時期を公表する可能性がある」とのヘッドラインが流れたことから、ECBのQE終了が予想より早まるとの見方が強まり、ユーロドルが急騰したこと、対ユーロでのドル売りに押され、ドル円は109.48まで下落。その後、2.90%台まで低下していた米10年債利回りが2.92%台まで上昇するなど米金利の上昇を受け109.75まで戻す。終盤は109.70近辺で推移し109.79レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは一時1.1716まで上昇したが、コンテ新首相が所信表明演説で「今後急進的に変革を行っていく」と発言したことから、イタリアの政局不安が再燃し1.1677まで反落し、1.1682レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1653まで下落するが、この近辺では買い意欲も強く反発。その後、上記ヘッドラインを受けECBのQE早期終了観測が高まり1.1732まで急上昇し、1.1718レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 藤巻・坂本